資料2-1

令和4年7月19日　第1回総合計画審議会　資料

阿見町の現状分析（中間報告）について

赤字部分は図表を準備中です

【人口の状況】（0）

〇R2国勢調査による阿見町の人口は48,553人。前回調査から県内第3位となる2.1%の増加。

（令和4年7月1日時点の常住人口は49,457人）

〇増加の要因は転出入による社会増で、土浦市をはじめ県内市町村からの転入が中心。

〇JR荒川沖駅に近い町西部、阿見東ICに近い地域で人口が増加。

【人がつながるまちづくり】（1，2）

〇女性の社会進出、外国人の増加、家族形態の変化など地域は変わり続けている。

〇行政区や地域活動への参加率は低下。

〇財政は健全に運営されているが、公共施設の老朽化対策に多額の費用が想定される。

〇行政手続きの電子申請対応が進む。

【人を育むまちづくり】（3，4）

〇病院数や医師数など医療環境は県内トップレベル。

〇医療費が増加傾向で、健康診査の受診率は伸び悩む。

〇少子化でも保育需要が伸び待機児童対策で保育定員増加。

〇小中学校の児童生徒数は近年は横ばい傾向。

〇公民館や図書館等の施設の利用者は横ばい傾向からコロナ禍により急減。

【暮らしを支えるまちづくり】（5，6）

〇宅地開発の状況を示す指標を検討中。

〇デマンドタクシーは登録者増加も利用者は横ばい。

〇就業者人口は横ばいで、商業・工業では従業員数が増加、農業では減少している。

〇観光入込客数はコロナ禍前までは横ばいで、集客はアウトレット、ゴルフクラブ、予科練平和記念館が中心。

【安全・安心のまちづくり】（7，8）

〇交通事故発生件数、刑法犯認知件数は減少傾向で、10年間でほぼ半減している。

〇ごみの排出量は漸増傾向で、個人の排出量は県平均より常に多い。

〇町内のCO_2排出量は、国県と比較して産業部門の排出割合が多く、県内でも排出量は15番目に多い。